周



設したそうです。
とは藩校と呼ばれる学校がには藩校と呼ばれる学校が 前の由来は「無理をしない います。武士の子どもたち この「涵養舎」という名 人と推定されて

現在に残る鴛海量容さんの二行書

校を任される時期も 認められ、島原の藩 量容さんの功績は

まってきたそうで 若者たちが続々と集

区に住んでいます。

量容さ

口・広島など遠方かれる、福岡・長崎・山

~36年)に農民の間の 9は、享保年間(17 9は、享保年間(17 2000年)に農民の間の 1000年)に農民の間の 1000年)に発見の間の 1000年)に発見の 1000年 1000年)に発見の 1000年 1

らも向学心に燃える

情熱は近隣にも聞こ

日一日を無駄にせず学習し いと思いました。 ていく思いをもっていきた んの生き方を受け継ぎ、

勝司さん

て広めら

くなっています。だから草太鼓をたたく打ち手が少ないます。また、口説き手や

閉鎖まで47年間で門弟の数490)年の第36、1890)年の を創設したそうです。 は3000~ 18 The state of the s

育を受けた後、「涵養舎」の長男として草地入事地区の長男として草地入事地区の場所で教 単松たちは、私たちの住む 「1843」年にあった私 「1843」年にあった私 「1843」年にあった私 衛門と母・美和の五男二女 塾「涵養舎」を創設した鴛鴦(1843)年にあった私 海量容さんについて調べま した。 量容さんは文政2 9 年に父・多右

ハう意味だそうです。「滷でゆっくり覚えようね」と 級に細別していました。新らに各等を1、2、3の3 養舎」では学習の全理いう意味だそうです。 上中下の3等に大別し、さ では学習の全課程を していました。

1級を修了した者は中等3格するごとに進級し、下等

年間島原の藩校で藩士の弟

ひろしに引き渡し、

草地小学校では、した。

毎年ゲ

中の「涵養舎」の教務を弟 ありました。そのため不在

位置づけられ、大試験を合入生は入門時、下等3級に

まったく通用せず、教科書 って採点され、丸暗記では われました。読み方・解釈 級へ昇級する仕組みでし ・口頭試問・討論などによ た。試験は毎月1回ずつ行 さと、教育に対する 歳でした。学問の深 の年齢は12歳から20 が大切とされ、塾生が大切とされ、塾生 の内容・意味をしっ 塾生 を教授しました。 明治5

って師として仰いでいまししみと尊敬のまなざしをも いだ量容さんと同じ草地地ほどまでに教育に力をそそ 石碑が残っており、地元の養舎」跡地や、量容さんの くなったので草地の地に帰が低下し、文字が見えにく れています。 座に戻りました。 へたちによって大切に守ら口碑が残っており、地元の 現代 量容さんは次第に視力 「涵養舎」の総長の 草地地区には「涵 私たちはこれ



彩たち豊後篙笛市草地が学校の4・5・6 幹生は、 「葦地の魅労や首慢」について調べました。 **査む草地地区は、自然に囲まれたとても美しい場所で** 歴史ある神社や伝統ある盆踊りなどがあり

そんな草地の魅力や首慢について調べると、知 っていたつもりでも知らないことがたくさんありまし みなさんにも、草地の魅力や首慢を知ってもらえ るとうれしいです。

学校と大きな関わりがありまます。この春日神社は草地小は春日神社という神社がありは春日神社は草地小

を迎えて健康と学業の成就をお祭りがあります。このお祭お祭りがあります。このお祭まず、4月に勧学祭というまず、4月に勧学祭という

お祈りするお祭りです。

200年前にてきた



山本龍司さん がおります。 た白髪の

またがっ

年にこの神事が75年ぶりに給巻」が当社に所蔵されて 記した「春日社潮汲み神事 8 (1825) 年の様子を

した。村人がその様子を見とどろく日が何日も続きま 地では、稲妻が光り雷鳴が に行ったところ、白い鹿に 可の山本龍司さん(63)にお た春日神社があります。 には約1200年前にでき 私たちの住んでいる草地 神の化身が現れたにちがいめる翁ぞ」と告げて飛び去める翁ぞ」と告げて飛び去 春日神社の始まりとされてないと、宮殿を建てたのが います。

話を聞きました。

大同4(809)

事」が行われました。文政等日神社は、年間を通して祭りが多く、かつて雨のである雨乞いの「潮汲み神である雨乞いの「潮汲み神である雨乞いの「潮汲み神のある」という。

で汲んできた水を、境内にらせるために近くの川や海湖汲み神事とは、雨を降 みです。神に仕える鬼たち まくことで、その水が蒸発 して雨雲になるという仕組 さい。

の長さに驚きます。興味のよくわかります。その行列見ると、その当時の様子が ある方はぜひ見に来てくだ

再現され盛大に執り行われ 新型コロナウイルス感染症の殿で行われていました。今は

日神社に飾ってある絵巻をいて潮汲みに行きます。春が行列を先導し、人々を導

ました。

らいまでは、相撲大会が神楽で、私たちが1年~3年生ぐ 教えてくれていました。

は、10年前は、プロのお相撲があります。このお祭りで

プロのお相撲

さんがきて草地小のみんなに

納子供相撲大会というお祭り次に、10月第4土曜日に奉

が治まっているけっているけ

ました。早くコロナーにおいれど、はやる前まのお祭りが中止にな またにぎやかな

にとってもこの植樹祭に参加にとってもこの植樹祭に将来の夢は絵馬に将来の夢は絵馬に将来の夢 させていただけることは楽し

行 豊後高田市

草地小学校 4,5,6年生

> 5、6年生(光田敦子教諭、赤野文昭教諭、 の記者と一緒に作りました。 小泊薫教諭=計17人)が、大分合同新聞社 この新聞は、豊後高田市草地小学校の4、

うに願う「植樹しいものになるよ 植え、将来が輝かは春日神社に子どは春日神社に子ど そして、3月にてほしいです。 お祭りが戻ってき

草地小

春日神社

本殿

桂川

Gate

和光保育園

新聞ができるまで

いって 「記さん」 しょう マッカセ・ヤンソレサ・六マッカセ・ヤンソレサ・六マッカセ・ヤンソレサ・六で、みんなで元気よく踊れで、みんなで元気よく踊れるもので、みんなで元気よく踊れるとても楽しい踊りです。 この伝統ある草地踊りも、初盆家庭でも供養踊りも、初盆家庭でも供養踊り

豊後高田市中心部からほど近く、 豊かな歴史と自然に囲まれた草地小 学校。魅力ある地域を多くの人に知 ってもらおうと、4~6年生計17人 が新聞作りに挑戦した。

踊りを知らない人が増えて

われなくなっており、

取材を前に大分合同新聞社豊後高 田支局の大崎優志記者(26)が導入授 業をした。記事の書き方や取材のポ イントなどを解説。質疑応答などを 通し、記者の心構えを学んだ。

地域内に歴史的な事柄が多くある ことから「地域の魅力や自慢」をテ ーマにして取材活動に取り組んだ。

昨年6月、市教委文化財室の大山 琢央さん(43)が来校し、地区内にか つて存在した私塾「涵養舎」とその 創設者「鴛海量容」について授業。 創設の経緯や仕組みを学んだ。量容 の下で学びたいと全国から集まっ た門下生の情熱に触れ、校歌にも登 場する量容の人柄への理解を深め 豊後高田市草地小

全国郷土民謡大会で優勝し

世界的に有名になりま

280年以上もの伝統を持盆踊りになりました。以来

っています。

昭和8

(1933)

年に出場した

伝えたい地域の魅力



りやすく教えてもらってい太鼓・踊り・口説きを分か

勝司さん(6)を招いて、

ます。草地踊りを運動会や

内音楽会などで披露して

口説きは、

レソ・





②を記者から取材の仕方や記事の書き方を教わった(2022年5月27日)⊕春日神社で宮司の山本龍司さんから

同月下旬には春日神社を見学。同 社に所蔵される絵巻物のレプリカや 山本龍司宮司の説明から神社の歴史 や地域での役割、学校との関わりな

どを学んだ。

9月、地区の郷土芸能で県の選択 無形民俗文化財である「草地踊り」 についても取材。太鼓のたたき手と して草地踊りに携わる近藤勝司さん (60)を招き、太鼓のたたき方やくど

きなど地区の伝統を体験した。 取材後、大分合同新聞社ニュース 編集部の広石修一記者(45)の授業を 受け、見出しやレイアウトを一緒に 考えて紙面を完成させた。



があります。

のります。植樹というお祭り

呉崎小○

新聞づくりの様子を

ご覧いただけます

この企画は小学生(主に5、6年生)が、地域の魅力や課題 を取材し、新聞にまとめる作業を通して古里を見詰め直すこと を目的としています。問い合わせは大分合同新聞社地域連携室 「飛び出せ学校」係へ。 **☎**097·538·9729、 Eメールnie@oita press.co.jp